

実践発表

大 竹 高 等 学 校



1 大竹高等学校の概要

広島県西部の大竹市にあり、今年度で94年目を迎える
校訓 自主協調 誠実責任 各学年5クラス
アメリカハワイ州オアフ島のカラヘオ高校と姉妹校提携
平成9年度に総合学科を設置 全日制高等学校

- 普通科
国公立大学(理系・文系)への進学を目指す。
- 商業系科
簿記・情報処理などの資格取得を中心とし、将来企業人としての活躍を目指す。
- 家庭系科
家庭・社会・福祉などの領域で専攻・専修・専攻科に履修する。
- 芸術・体育系科
芸術・体育系の学校に進学を志している生徒に対応する科である。
- 農業系科
農業・林業・畜産・生物系系を履修し、実践的対応能力を育成する。

2 生徒の実態

学校全体も落ち着き、部活動や進路において目標を持って努力をする生徒が見られるようになってきた。しかし、自己肯定感が高くないなど、生徒は様々な課題を抱えていることが考えられる。

3 本校のめざす生徒像

- 自立心や自律性、生命を尊重する心を持った生徒
- 勤労観や達成感を育み、社会貢献できる生徒
- 自己肯定感を高め、高い志を持った生徒

4 研究主題

「地域に信頼される教育活動を推進し、高い志を持ち、将来、社会に貢献できる立派な人材を育てる道徳教育の創造」

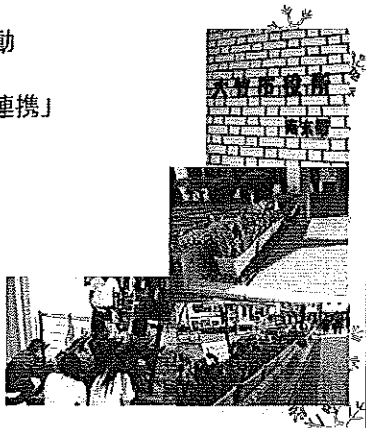
5 研究仮説

花いっぱい運動を通して、社会貢献の精神を養うとともに勤労観や達成感を養い、特別活動〔ホームルーム活動〕において、振り返る場を設けることにより、互いの頑張りを認め合い、自己肯定感を高め、自立心や自律性、生命を尊重する心を持った生徒を育てることができるであろう。

花いっぱい運動

キーワード「連携」

- 地域
- 異校種等
 - ・ 保育所
 - ・ 小学校
 - ・ 中学校



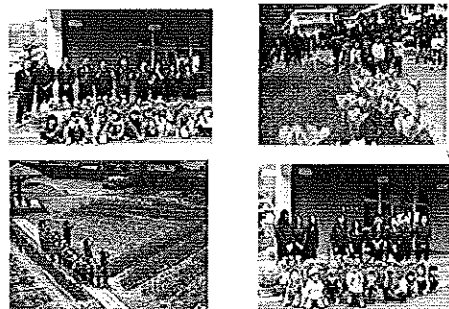
農業科「グリーンライフ」
 農業科と地元の自治会
 大竹駅前花壇の土づくりと除草、整備
 サルビアとマリーゴールドの定植



ひろしま満点ママ テレビ取材
 平成24年9月5日(水)放送 TSS



農業科「草花」
 クラインガルテン開園式、春の集い
 (大竹保育園、自治会との連携)



保育園の連携 草花の定植



芋ほり体験



小学校との連携 「産業社会と人間」

小方小学校と交流
 キャベツやハクサイ、ジャガイモ、大根などの育て方を小学生に分かりやすく伝えるために紙芝居を作成し、育てた苗を見せて説明しました。矢張の種を小学校の畑と一緒に植えました。



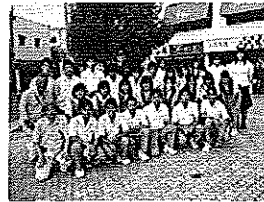
☆ 高校生1年生 ☆ 10月9日



連携交流(農業の活動)を通して 学
中国新聞で紹介

中学校との連携 【生徒会】

大竹中学校と地元の方々と
大竹駅前花壇の整備とヒマワリの定植



授業において

- 農業科
 - ・「草花」
 - ・「グリーンライフ」
- 産業社会と人間
- 特別活動【ホームルーム活動】

校内美化
農業科「草花」
パンジーを玄関前に定植



特別活動
全校生徒による「ヒマワリ2013」

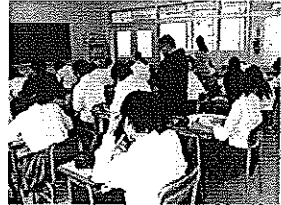
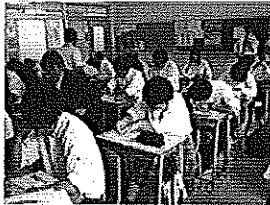


全校生徒による「コスモス2013」

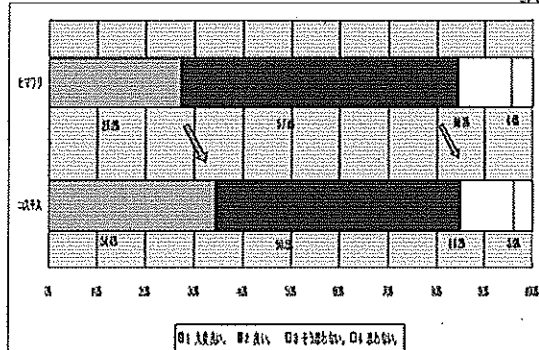


特別活動【ホームルーム活動】

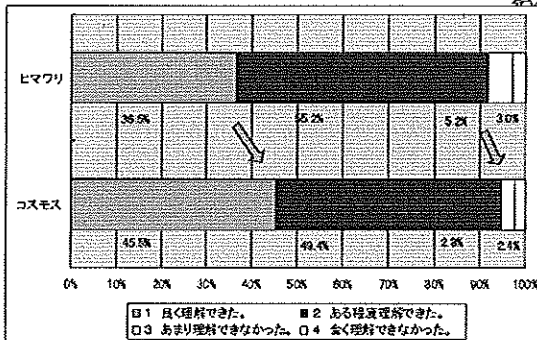
「ヒマワリ2013」、「コスモス2013」を振り返って
～全校生徒のアンケートから～



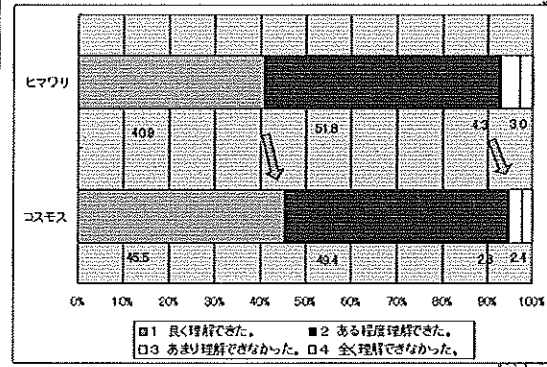
花いっぱい運動についてどう思いますか。



クラスで協力する大切さを理解し、クラスの分担区域をきれいにできましたか。



命(花)を育てることの大切さを理解できましたか。



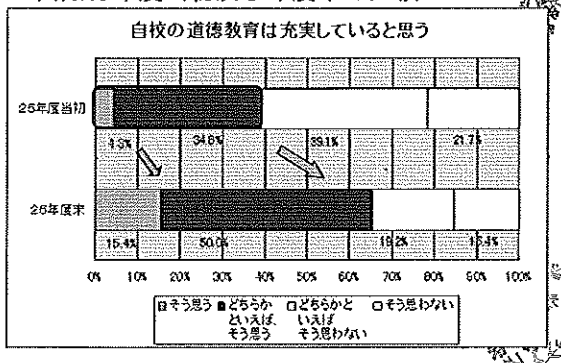
「ヒマワリ2013」「コスモス2013」の取組を通して学んだことがありますか。

真剣に取り組む人とそうでない人。大変さ。協力の大切さ。みんなで取り組む楽しさ。暑かったが協力し合えた。命の大切さ。みんなで真面目に新しい命を育てることに取り組むのは素晴らしい。継続の大切さ。協調性の大切さを改めて痛感した。花も一生懸命生きていること。命の大切さ。花はきれい。花を育てるのはみんなの協力が不可欠。花がきれいだと学校もきれいに見える。

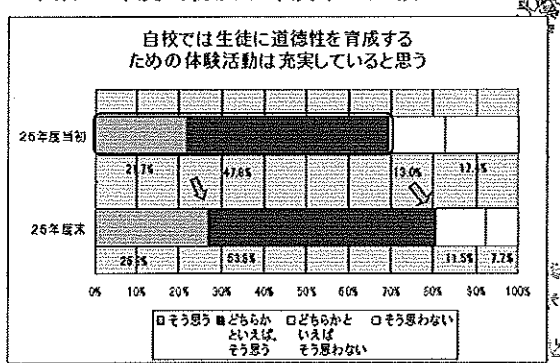
「ヒマワリ2013」「コスモス2013」について自由に意見を書いてください。

みんなが頑張ったのですごいと思う。大変だけど続けることに意味がある。よい活動なので続けてほしい。まじめに取り組んでいる生徒とそうでない生徒とのギャップ。花はきれいだと思う。みんなで暑いときにやるとすごく楽しい。大変だけれども大切なこと。花をそだてるのは気持ちのいいものである。暑かったけれど全体での行事があるのは良いことだ。いい取り組みだと思う。皆でひとつのことをやるのは楽しい。学習や交流ができてとても良い活動。

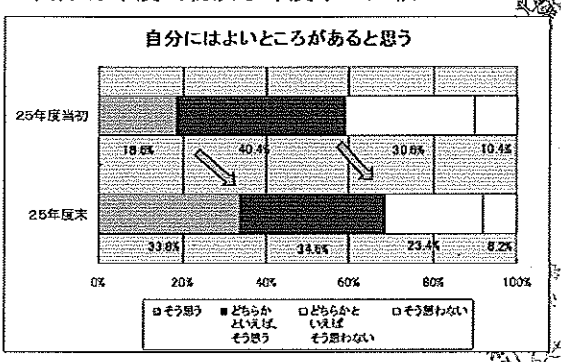
教職員の意識等調査結果
平成25年度当初及び年度末の比較



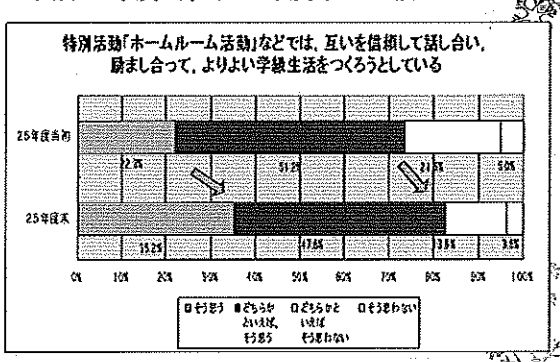
教職員の意識等調査結果
平成25年度当初及び年度末の比較



生徒の意識等調査結果
平成25年度当初及び年度末の比較



生徒の意識等調査結果
平成25年度当初及び年度末の比較



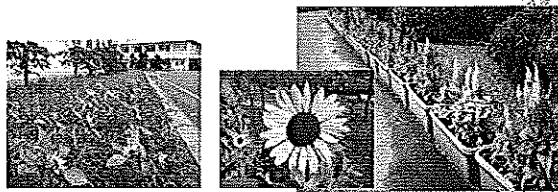
【成果】

- 自他の生命の尊さや生きることの素晴らしさについて自覚を深めることができた。
- 特別活動〔ホームルーム活動〕を道徳性の育成の視点をもって全学年で実施できた。
- 勤労観や達成感を持った生徒が育ち、自己肯定感を高めることができた。



【課題】

全教職員で道徳教育を推進するための推進体制の機能化



道徳教育の推進体制

教務部

各教科・科目において実践されているか、可能な内容であるか、点検する。

進路指導部

自己肯定感・自己存在感を育成し、進路形成に生かす。

生徒指導部

規則や決まりを指導する上で、わかりやすい表現で伝え、理解させる。

生徒会

部活動を通じ、集団への所属を自覚させ、達成感や自己肯定感を養う。

道徳教育推進体制

生徒指導部に推進担当を配置し、校長の指導により、教頭、事務長、各分掌、学年主任、教科主任が連携しながら進める。



全校生徒 特別活動
「ヒマワリ2014」全校生徒

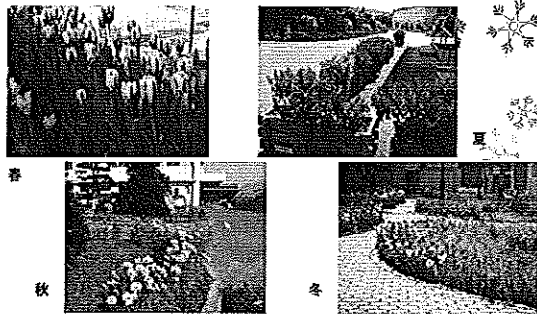
全員の自覚を高める工夫

「ヒマワリ2014」の準備
やこれまでの取り組みを紹介
生命の尊さや生きることの素晴らしさについて自覚を深める。



今後に向けて

命を育てる心 高い志 地元とのさらなる連携
道徳性育成の視点を持って継続的な実践



自立心や自律性、生命を尊重する心を育む道徳教育

広島県立大竹高等学校